



校長室だより

すきです 白峰

全校の

平成 28 年 10 月 11 日 No.25

白山市立白峰小学校

チャレンジ

スローガン

「すきです 白峰, 学び合い, 高め合い, 世界に発信」



学力の安定・向上に向けて



全教員, 全学年で工夫した取り組みを行っています。
いつでもご来校いただきご覧ください。

チャレンジタイム

25分 プラス の共通実践
毎週水曜日 午後1時20分~45分
プラス「放課後学習」(校長室で〇まる)



万人が認める



5. 家庭学習1週間プラン

白峰小フランドに 挑戦

THE SHIRAMINE #シラミネ57月17日ご紹介

全校が、自ら来週1週間の家庭学習計画を立て、翌週、その計画に沿って実行する家庭での学習。先月9月から、毎月第2週に取組を進めてみることにしました。従来のご家庭での家庭学習重点週間に合わせた形となり、ご家庭にご協力いただくことで、より実効性の高いものとなっています。

子ども達には「自主的な」学習スタイルが最も必要であると捉えた取組ですが、波及効果はすでに見られています。5年生企画による、昼休みの「トランポリンで遊ぼう」、6年生企画による「モルモットを飼おう」など、学校主導、教師主導の進め方から、子ども達が自ら「遊び」「話し合い」を通じて企画を提案するようになりました。そして、さらに、休み時間には高学年の声掛けで、全校が集ってにぎやかに、仲よく鬼ごっこをしている様子は、これまで本校で見たことのない和やかで温かい風景として映っています。

未来へ



「夢プロジェクト」3幕

森林教室「森で遊ぼう」



自然にふれる学び



森に入り、キノコに驚き、ドングリのじゅうたんで、ひたすら拾って楽しむ子達。木に登ろうとしがみつき、必死に登って喜ぶ子達。

織田毅様、平松新一様、小田栄一様
森林体験のお世話をありがとうございました。

この地に生まれ育ち、その恵みを体感できた時間だと思います。大好きな白峰の、自然に豊かさも「誇り」に、どんどん成長してほしいと願っています。高学年のお蔭で、新しいたてわり班でも仲良く活動できたようです。素晴らしい時間でした。

森林にふれる



自然の恵みは貴重です。学びになり、遊びになり、そして、何よりも喜びになります。3名の講師の皆様の丁寧なご指導とご協力のお蔭で、また一つ、子ども達の実力が積み重なりました。



晴天の下で、「この土地ならではの学びを満喫しました。」「すきです白峰」の意義を再認しました。



みんなが仲よく遊べるために！

5年生が自ら企画しました。めあては「仲よく順番を守る」、「楽しむ」の2つ。しかも、1-3年と4-6年に分けて時間を設定しました。初めて体験の子が多く、とっても盛況でした。周囲から応援され、子ども達の20回ずつのジャンプは、一つひとつに意味があったように見えました。さらに、「危険が伴う」ことを認識したようで、今後の取組には慎重になっています。それも、素晴らしいことです。計画に改善修正はつきものですから！



5年生独自企画 トランポリンで遊ぼう！



高く、高く

バランスよく

教科道徳の照準は？



Source: National Training Laboratories, Bethel, Maine

教科道徳の現況 ② 連載中 - 変えていくこと 変えられないこと -

変えていくこと

一 アクティブラーニングへの取組、そして、クロスカリキュラムの実践

授業者にはまず、「子ども達が主体的に目を向け、学ぶことのできる授業」が求められます。これは、他教科と同様です。そのため、個々の授業は「学びたい」、「面白い」、「わくわくする」という時間にする必要があります。このことはこれまで重視されてこなかった側面です。しかし、変えていくことで教科道徳の意義は確実に高まるものと考えています。

そして、道徳の時間は、他教科同様にその時間のねらいに沿い、学習の定着の様子を評価することになります。ラーニングピラミッドの視点からすれば、「読み物資料を聞く、あるいは、読む」次元で授業時間が終わるといふわけにはいきません。その一方で「体験する」、「他に教える」という次元ともかけ離れた「内容項目」のねらいがあります。すなわち、「今すぐできるようになる、そのような人になる」ことは極めて難しいのです。道徳を通じて、子ども達に伝えたいことは、「その子が生涯をかけて、自分のものと考え、自己決定していけるように、考え続けてほしいことが多い」のです。学校は、そのことを踏まえ学校の教育課程(カリキュラム)では発達段階に配慮し、同じ内容項目を学年ごとに繰り返し、繰り返し次元をあげながら指導していくことになっていきます。

ところが、これまで他教科や教育活動の関連を見定めながら、その複合や統合が図られていませんでした。点としての道徳学習が繰り返されてきたのです。これからは、道徳指導の足跡としての「線」と他領域で指導されてきた「線」が、内容を通して交わったり、並行したりすることを大前提に捉える必要があります。そして、教育課程には、その方向性が具体的にはつきり位置付けられる必要があります。

(続く)



みつけ玉を磨く！
がまん玉を磨く！
自問清掃の充実 しんせつ玉を磨く！

ホームページではカラーでご覧になれます。いつでも何なりとお問い合わせください。
〒920-2501 石川県白山市白峰二 110 番地
TEL (076) 259-2009 FAX (076) 259-2188
E-mail shiramine-e02@sc.city.hakusan.ishikawa.jp